

# 第23回全外教セミナー・徳島集会

- 多文化共生社会を実現し、外国にルーツを持つ子どもたちの未来を拓こう -

## ご案内

全国在日外国人教育研究協議会（略称、全外教）は外国籍や外国にルーツを持つ子どもたちの教育課題を明らかにし、そうした子どもたちと日本人の子どもたちの自立と連帯の場づくりを積極的に保障する運動や実践をすすめてきました。その一環として1996年に第1回全外教セミナーを神奈川の地で開催し、以来、今回のセミナーで第23回を迎えます。今回は「多文化共生社会を実現し、外国にルーツを持つ子どもたちの未来を拓こう」をテーマに徳島の地で開催をします。

徳島には解放教育の長いとりくみの歴史があります。各校ではもちろん、それぞれの地域での中学生友の会・高校生友の会にも積極的にとりくんできました。その中で、いくつかの地域では、あたらしい解放教育の担い手が育ちつつあります。しかし、在日外国人の子どもたちとのかかわりは、不十分であると言えます。

徳島県内には、2009年末現在5409人の外国籍住民がいます。その約63%にあたる3394人が中国籍です。さらに、フィリピン国籍が612人で約11%、韓国・朝鮮籍が381人で7%です。これは、徳島県内の中国籍の在留資格が「研修」が864人、「特定活動」が1558人であり、このふたつで全体の71%を占めることが、その一因と考えられます。現実に、学校現場で外国籍の子どもたちと出会うことはほとんどありません。しかし一方、ほんとうに少数の外国籍児童・生徒がおり、その子どもたちは各学校に散在しています。また、日本籍を持つ外国人児童・生徒を加えるなら、その数は、私たちの想像を超え、はるかに多いでしょう。

私たちは、ここ数年、全外教研究大会や、全国在日外国人生徒交流会に参加してきました。交流会での論議や、全体会での子どもたちのアピールを通して、地域や学校の中で、たったひとりであるであろう子どもたちが「出会いの場」を必要としていることに、ようやく気づきました。そこで、今回全外教セミナーを、徳島の地において開催させていただくことにしました。

全国みなさんとセミナーの場を通して交流し、そこからたくさんを学びたいと思います。私たちは、県内のなかまに精一杯参加を呼びかけます。全国みなさんも、ぜひともたくさん参加をお願いします。  
(徳島集会実行委員会)

主催	全国在日外国人教育研究協議会・徳島集会実行委員会
後援	徳島県教育委員会・徳島市教育委員会 徳島県人権教育研究協議会、NPO法人あわーふらっと（依頼中）
日時	2011年5月14日（土）13時30分～17時（受付13時）
場所	徳島県総合教育センター（徳島県板野郡板野町伏字東谷1-7）
テーマ	多文化共生社会を実現し、外国にルーツを持つ子どもたちの未来を拓こう
内容	基調提起「多文化共生社会を求めて」 全国在日外国人教育研究協議会事務局長 寺井秀登 シンポジウム「外国にルーツを持つ子どもたちの未来を拓くために」 コーディネーター 谷 敏光（全国在日外国人生徒交流会担当・奈良） パネラー シノブーハン・マリジュ（卒業生・神奈川） 森田 雪（卒業生・奈良） 市川トーマス友基（卒業生・大阪） 李 慶 順（保護者・三重） 土肥いつき（教員・京都）
参加資料代	1000円
その他	セミナー終了後、全国交流会を予定しています。 参加費は3500円です。
連絡先	徳島集会実行委員会・河野（090-3182-9922）



車の場合  
高松自動車道・板野ICから車で約7分  
徳島自動車道・藍住ICから車で約10分  
(県道鳴門・池田線に案内標識有り)  
JRの場合  
板野駅で下車、車で約6分  
徳島バス「鍛冶屋原線」に乗車「総合教育センター」で下車